

UMIDAS

現場と共に、時間を生み出す、余白を生み出す

今回は第4回適正化会議で議論された内容と、第5回のWGの様子についてお伝えいたします！

適正化会議の内容

▶ 第4回会議の様子



日時：令和8年1月13日（火）15:50～17:00

場所：たけまるホール研修室4

第4回勤務時間適正化会議では、これまでの議論を踏まえ、制度や運用をより実態に近づけていくための具体的な協議が行われました。

【支援員・SSSの任用要件について】

まず、支援員およびSSSの来年度の任用要件について協議が行われました。各校における勤務実態を共有する中で、職務内容や勤務形態、運用方法が学校ごとに大きく異なっている現状が改めて確認されました。業務範囲の線引きが学校裁量に委ねられていることに加え、タイムカード導入によって、これまで慣例的に行われてきた柔軟な調整が難しくなっていること、また校長の異動時に業務内容が十分に引き継がれず、運用がリセットされてしまうケースがあることなど、複数の課題が共有されました。これらを受け、来年度に向けては一律の基準で縛るのではなく、各校の実態に応じた柔軟な制度運用ができるよう、方針の整理が行われました。現場の状況を踏まえながら、より実効性のある形を模索していく方向性が確認されています。

【留守電設定時刻】

次に、留守番電話の設定時刻について協議が行われました。今後の基本的な考え方として、設定時刻は勤務時間内である8時30分から17時までとし、市として周知していくことが示されました。一方で、学校ごとに実態が異なることから、一律の運用とするのではなく、学校判断で設定時刻を変更することも可能とし、その場合は市へ報告する形とする方向性が共有されました。市としては勤務時間内対応を原則としつつも、電話受付時間を「短くする」よりも、学校の判断で「延ばす」方が説明しやすいのではないかという考え方が示され、学校裁量を尊重した運用とすることが確認されました。

【通知文書】

また、市教育委員会から学校へ発出される通知文についても議題となりました。12月時点で通知が1,200件を超えている現状を踏まえ、今後は通知を分類・整理していく方針が共有されました。すべての通知を同じ重さで扱うのではなく、内容に応じて整理することで、学校現場の負担軽減につなげていくことが意図されています。

このほか、自動録音装置の導入に向けた検討状況や、春期休業日の変更についても共有があり、今後の調整に向けた方向性が確認されました。

第3回WGの様子



▲第3回WGの様子

日時：令和8年2月19日（木）15:30～16:45 場所：コミュニティセンター402

第3回勤務時間適正化WGでは、これまでの議論を踏まえながら、来年度に向けた具体的な検討を行いました。冒頭では、適正化会議での検討状況や今年度の進捗について共有がありました。詳細は3月のUMIDASでお伝えします。今回の前半は、「ポータルサイト活用」をテーマとしたワークからスタートしました。グループごとにデモサイトを実際に触りながら、学校現場にとって「あったらよい機能」や「こういう形なら使いやすい」と感じるポイントを出し合いました。

後半は、「来年度、優先的に検討すること」をテーマに、より実践的な議論が行われました。

第1回・第2回WGで出された意見を改めて振り返りながら、それらを「市として検討すること」と「学校単位で取り組めること」に整理。さらに、新たな視点があれば追加し、優先順位を検討しました。市として検討すべき事項については、理由を明確にしたうえで優先ベスト3を決定。単に「人が足りない」「予算を増やしてほしい」といった抽象的な要望ではなく、「ここに余白があるから、こう変えられるのではないか」といった具体性の高い提案を出し合う場となりました。

ふり返し

第4回会議では、これまでの議論を検討にとどめず、実際の制度や運用にどう反映していくかを具体的に考える段階へ進みました。またWGでも、「提案の具体性を上げる」「優先順位をつける」という一歩踏み込んだ議論が行えました。引き続き、現場の実感を大切にしながら、時間と余白を生み出す取組を積み重ねていきます。今回は文字が特に多くなってしまいごめんなさい！

次回予告

第5回適正化会議
3月16日（月）
15:30～17:00
場所：303会議室